

# さるぼぼ通信



## 第10分科会「父母・地域との共同」特集②

愛知名古屋学院高校 板倉先生『サークルでつなぐ父母の力』



名古屋学院職員組合の「サークルでつなぐ父母の力」は、学校に戻って早速先生と相談したいと公の場で声が上がるほど反響の多いレポートでした。

100名を超える京都バスツアーのチラシ内容の多様さに全参加者が目を見張っていました。学園の協力が得られない中でも「人を活かす」「楽しいことに人は集まる」これまで積み重ねた実践に確信を持ちサークルでつないだ父母、OB 父母、さらに私学運動の主体者へとする先生方の姿勢は多くの人々を励ます内容でした。

愛知 東海中高 西村先生『東海父母懇35年のあゆみ』

- 大変興味を持ちました。PTAの地区委員をしていて課題も多いので、それらを解決できるヒントをいただきました。テーブルに東海の父母の方がいらしたので、さらに詳しくお話を聞くことができました。(神奈川県 保護者)
- 加入率、参加率がとても良くて驚きました。うらやましいです。活動方法を参考にさせていただきたいです。(神奈川県 保護者)



参加された保護者の方々の全体を通した感想です。

- 分科会のテーマからすると、もう少し保護者目線での報告や議論がしやすい分科会づくりにして欲しいと思った。
- 父母婚活動をこれからも続けるためには大変役に立つ話が多く、うん、うん、とついうなづいてしまう話が多かった。されどどのように・・・波風のように自分よりすぐ努力していて、立ち上がって行く人、切り開いていく人、すごいと思います。マイナスをプラスに変えて前進していきたいと思う一日でした。
- 日本一私学の多い東京で父母懇に加盟している学校の少なさにもびっくり。やはり、子供の教育・成長は、学校は教師、家庭は父母では絶対にできないと私は考えているのでこれからの日本教育にも不安を感じていましたが、全私研に参加し、もっともっと私学の教師・父母に参加してほしいと強く感じました。

### 【今日のイチオシ】

愛知 東海中高 西村尚登先生。愛知私学の中でも、完成された父母懇組織を創出し、愛知私学の運動を牽引する東海の父母提携を築いてみえた西村先生の勇退レポート！？思いと苦労がふんだんに詰まった「35年のあゆみ」から、若手に繋げるための継承の課題まで、静かな語り口ながら熱が伝わるレポートでした。県下随一の進学校でありながら、9割の父母懇会員が全県の私学運動を支える学園は全国でも稀有な存在だと感じました。最後に、紺野委員長の決意表明もあり有意義なレポートでした。



全私研中の速報は「飛騨高山全私研ブログ」でもご覧いただくことができます。以下のアドレスにアクセスしていただくか、QRコードを読み込んでください。

<http://47zenshiken.jugem.jp/>

